

君みつしのふところ具合は

～令和4年度 決算をもちいて～

普段なじみの薄い市の財政状況について、令和4年度決算をもとに、出来るだけわかりやすく説明します。

君津市
マスコットキャラクター
きみびよん



1. 決算とは？会計の種類や金額は？

市へ1年の間に入ってきたお金（歳入といいます）と、そのお金を何のために使ったのか（歳出といいます）を明らかにすることが決算です。年度の終了後に結果をまとめ、議会の承認を求めます。市の会計は、お金がどんなことに使われるのか、お金の出入りの関係をはっきりさせるため、一般会計と特別会計に区分しています。各会計の決算額については以下のとおりです。

令和4年度各会計の決算額

(単位:千円・%)

会 計 の 種 類	歳入総額 (A)		歳出総額 (B)		歳入歳出差引額 (A) - (B)	
	金 額	前年比	金 額	前年比	金 額	前年比
一般会計	39,686,172	△ 6.3	38,341,072	△ 2.9	1,345,100	△ 53.2
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	9,534,334	△ 1.2	8,834,638	△ 0.5	699,696	△ 9.1
国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定) ※市内2診療所に係るものです。	101,784	△ 4.7	95,362	△ 4.8	6,422	△ 3.6
農業集落排水事業特別会計 ※市内ミニ下水道に係るものです。	42,155	28.1	31,609	10.0	10,546	153.0
介護保険特別会計	7,577,949	1.5	7,280,045	0.9	297,904	20.6
後期高齢者医療特別会計	1,263,679	5.8	1,256,903	5.6	6,776	75.6
合 計	58,206,073	△ 4.4	55,839,629	△ 2.0	2,366,444	△ 39.4

一般会計とは？

¥

福祉、教育、防災対策、道路整備など、市の基本的な行政サービスを行う会計のことをいいます。

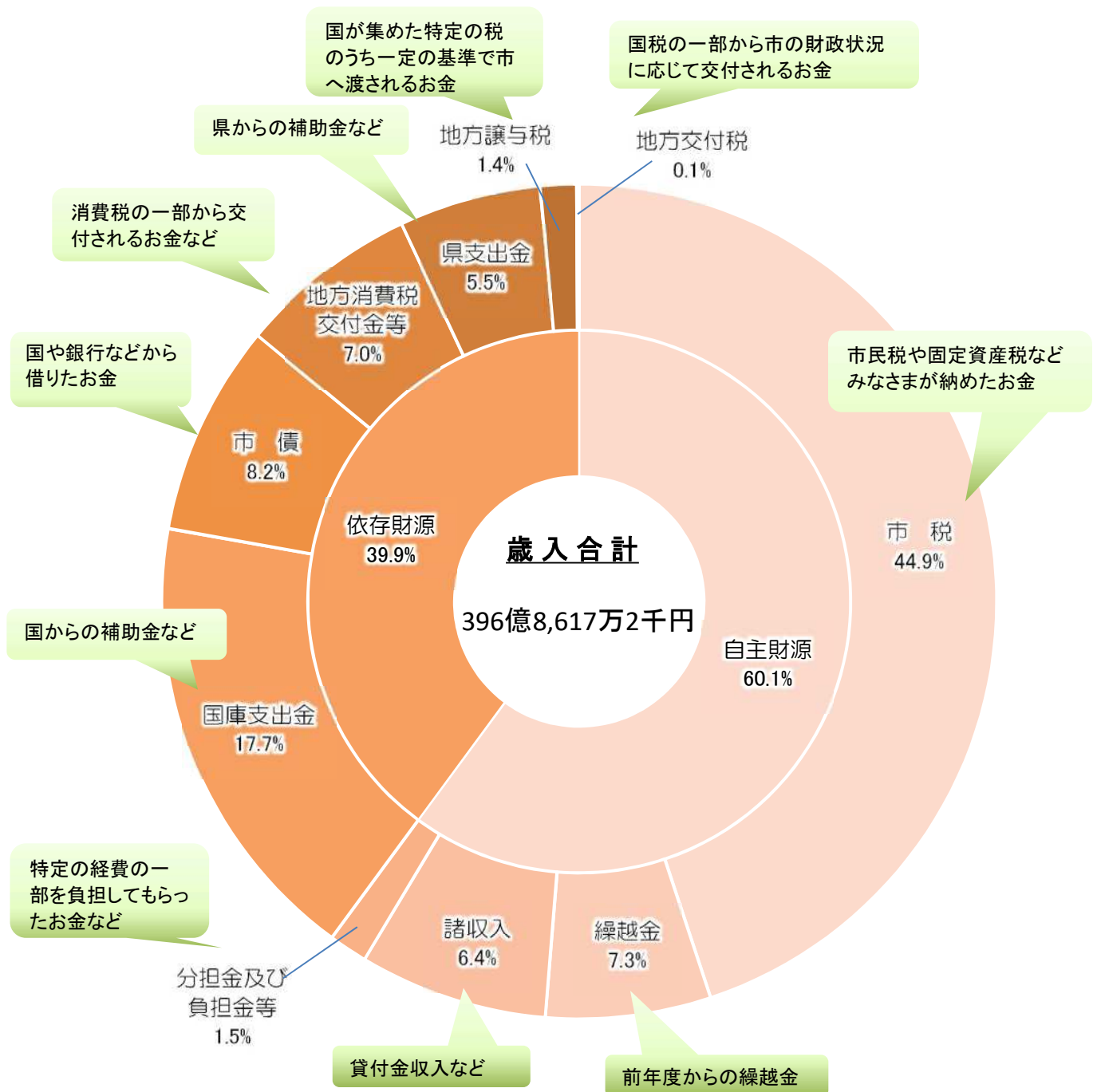
特別会計とは？

¥

国民健康保険税や介護保険料など特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計のことをいいます。

2. 入ってくるお金（歳入）ってどんなものがあるの？その金額は？

市の歳入には、みなさまから納付していただく市税（市民税や固定資産税など）のほか、特定の事業の経費の一部として国や県から交付されるもの（国庫支出金と県支出金）や、道路や学校などを建設、改修する際に国や銀行から借りることが出来る借金（市債）などがあります。それぞれの決算額は以下のとおりです。



令和4年度歳入決算額（一般会計）

（単位：千円・％）

種 類	令和4年度 決算額(A)	構成比	令和3年度 決算額(B)	比較(A)-(B)
1 市税	17,820,837	44.9	17,612,173	208,664
2 地方譲与税	549,456	1.4	570,169	△ 20,713
3 利子割交付金	7,319	0.0	7,817	△ 498
4 配当割交付金	73,657	0.2	80,593	△ 6,936
5 株式等譲渡所得割交付金	58,522	0.2	101,533	△ 43,011
6 法人事業税交付金	204,937	0.5	168,518	36,419
7 地方消費税交付金	2,155,930	5.4	2,114,044	41,886
8 ゴルフ場利用税交付金	150,569	0.4	151,005	△ 436
9 自動車取得税交付金	1,051	0.0	0	1,051
10 環境性能割交付金	47,477	0.1	39,794	7,683
11 地方特例交付金	75,522	0.2	199,480	△ 123,958
12 地方交付税	30,087	0.1	402,379	△ 372,292
13 交通安全対策特別交付金	11,047	0.0	12,495	△ 1,448
14 分担金及び負担金	151,634	0.4	454,672	△ 303,038
15 使用料及び手数料	444,469	1.1	402,175	42,294
16 国庫支出金	7,041,266	17.7	8,726,925	△ 1,685,659
17 県支出金	2,179,726	5.5	2,404,329	△ 224,603
18 財産収入	133,663	0.3	225,995	△ 92,332
19 寄附金	401,544	1.0	464,620	△ 63,076
20 繰入金	1,218,608	3.1	1,462,139	△ 243,531
21 繰越金	2,875,448	7.3	2,432,866	442,582
22 諸収入	795,503	2.0	693,608	101,895
23 市債	3,257,900	8.2	3,645,600	△ 387,700
歳 入 合 計	39,686,172	100.0	42,372,929	△ 2,686,757

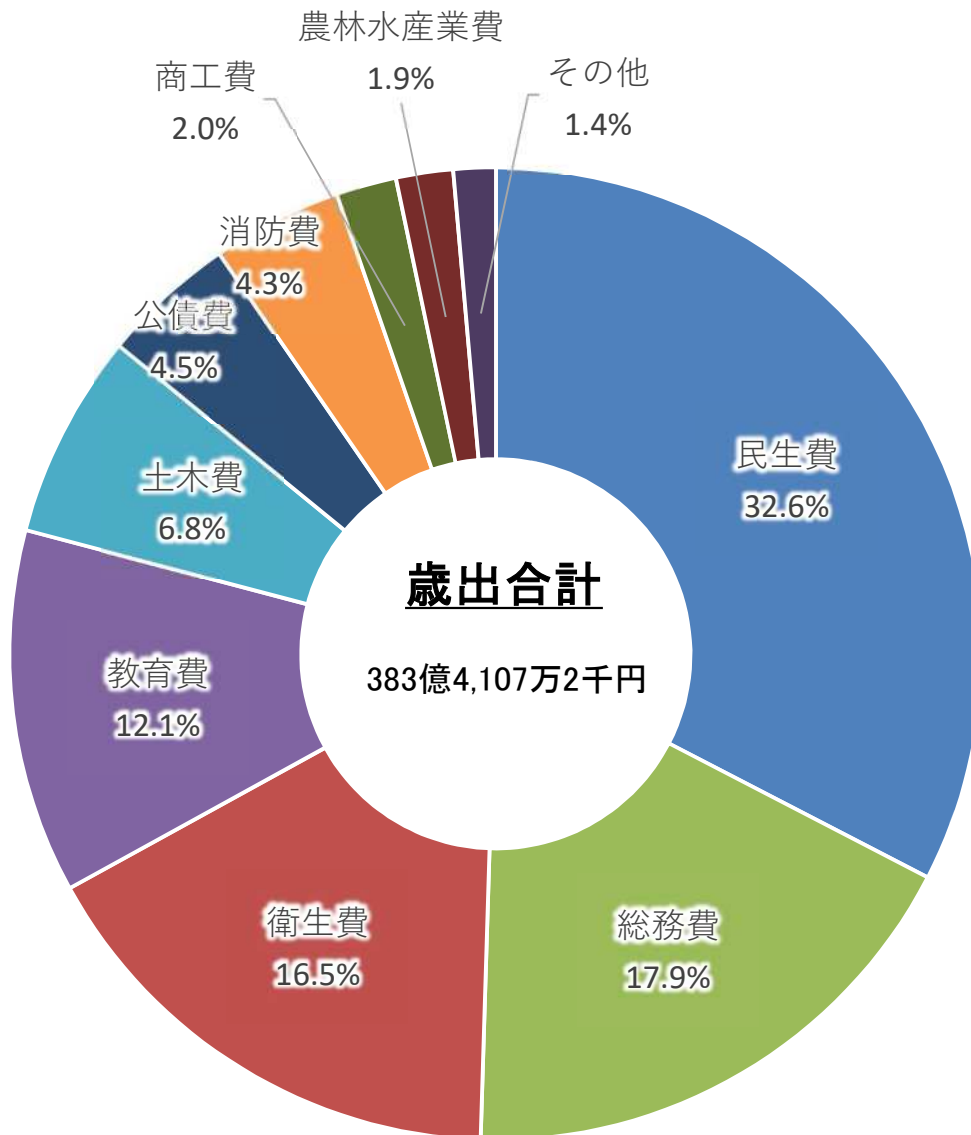
(1) 地方消費税交付金等 地方消費税交付金・利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・法人事業税交付金・ゴルフ場利用税交付金・自動車取得税交付金・環境性能割交付金・地方特例交付金・交通安全対策特別交付金

(2) 分担金及び負担金等 分担金及び負担金・使用料及び手数料

(3) 諸収入等 諸収入・財産収入・寄附金・繰入金

3. どんなことにお金が使われたの？その金額は？

高齢者福祉費、保育園関係費、生活保護に関する経費のほかに、バスの運行、ごみ処理に関する経費、小学校・中学校に関する経費、消防・防災に関する経費など、多岐にわたってみなさまの生活に関係するものに使われています。それぞれの決算額は以下のとおりです。



民生費	125.2億円	福祉のためにかかったお金（高齢者福祉、生活保護など）
総務費	68.5億円	市役所の運営、バスの運行、徴税などにかかったお金
衛生費	63.1億円	ごみ処理、保健・医療などにかかったお金
教育費	46.5億円	小・中学校や公民館などの運営にかかったお金
土木費	25.9億円	道路や河川の整備・維持などにかかったお金
公債費	17.2億円	借金の返済にかかったお金
消防費	16.5億円	消防・防災などにかかったお金
商工費	7.7億円	観光の振興などにかかったお金
農林水産業費	7.5億円	農林業などの振興にかかったお金
その他	5.3億円	議会費、災害復旧費、労働費

令和4年度歳出決算額（一般会計）

（単位：千円・％）

種 類	令和4年度 決算額(A)	構成比	令和3年度 決算額(B)	比較(A)-(B)
1 議 会 費	274,310	0.7	280,013	△ 5,703
2 総 務 費	6,851,197	17.9	6,363,770	487,427
3 民 生 費	12,519,022	32.6	12,572,328	△ 53,306
4 衛 生 費	6,311,415	16.5	6,800,991	△ 489,576
5 労 働 費	77,750	0.2	64,646	13,104
6 農林水産業費	748,135	1.9	1,113,033	△ 364,898
7 商 工 費	769,269	2.0	834,613	△ 65,344
8 土 木 費	2,590,583	6.8	3,519,286	△ 928,703
9 消 防 費	1,650,942	4.3	1,759,716	△ 108,774
10 教 育 費	4,649,849	12.1	4,418,634	231,215
11 災害復旧費	175,623	0.5	188,568	△ 12,945
12 公 債 費	1,722,977	4.5	1,581,883	141,094
歳 出 合 計	38,341,072	100.0	39,497,481	△ 1,156,409

4. 家計簿にしてみると

君津市の令和4年度一般会計決算を一世帯あたりの家庭の月平均収入45万円（年間545万7千円）に置き換えて計算しました。

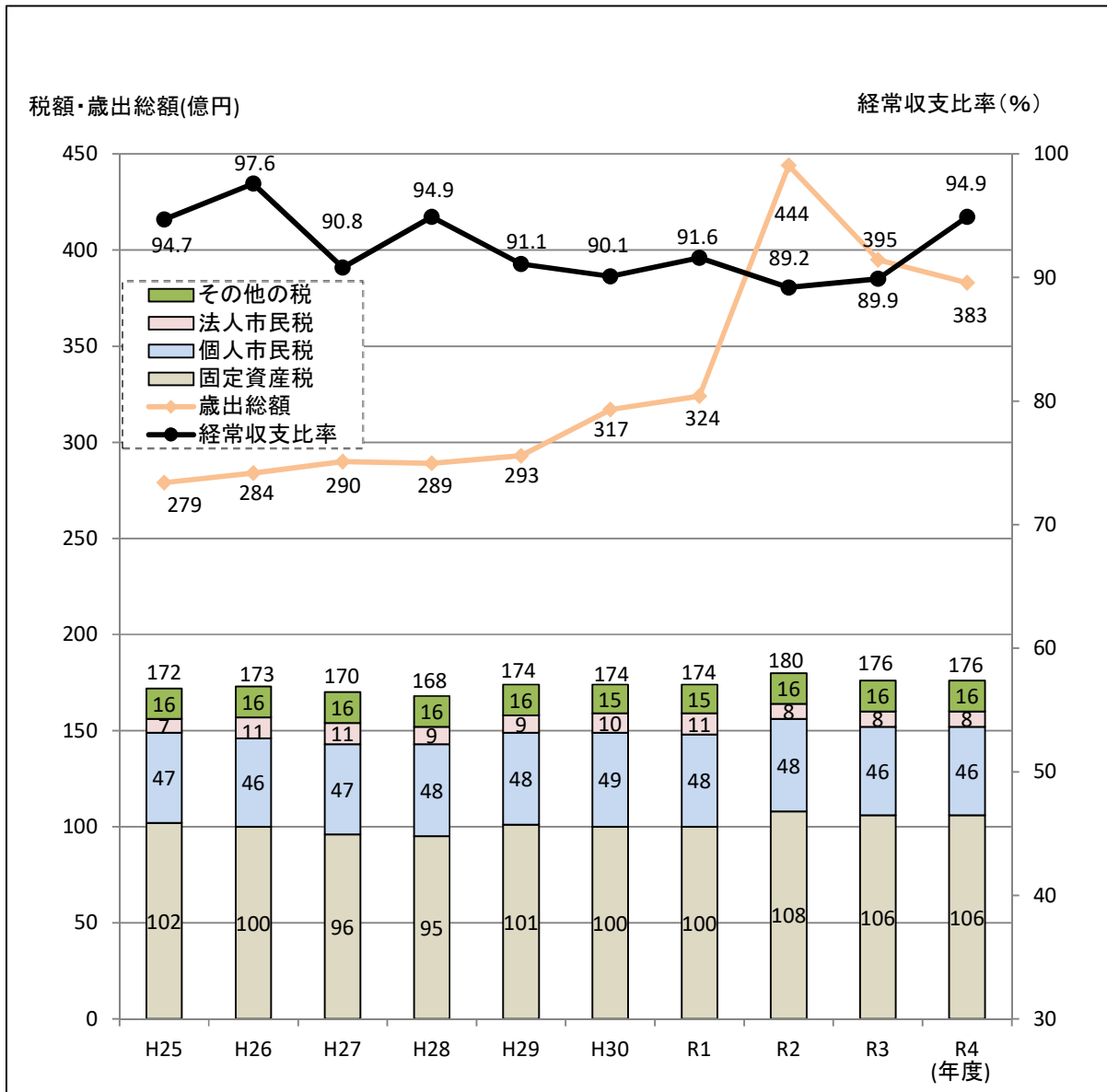
《 き み つ し の 家 計 簿 》			
収 入			
項 目（内 容）		金 額	構 成 比
給与	基本給（市税）	20万2千円	44.9
	諸手当（国県支出金、譲与税など）	14万2千円	31.6
パート収入（使用料・手数料など）		2万2千円	4.8
貯金の取り崩し（繰入金）		1万4千円	3.1
前月からの繰越金		3万3千円	7.3
銀行からの借入（市債）		3万7千円	8.2
親からの仕送り（地方交付税）		0千円	0.1
計		45万円	100.0

支 出		
食費（人件費）	9万1千円	20.9
光熱水費など生活費（物件費・維持補修費）	8万2千円	18.9
医療費（扶助費）	8万5千円	19.5
家具や電化製品の購入費（普通建設事業費）	6万5千円	15.0
ローンの返済（公債費）	2万円	4.6
子ども世帯への仕送り（繰出金・補助費）	6万1千円	14.0
貯金の積み立て（積立金）	2万4千円	5.5
その他雑費（貸付金など）	7千円	1.6
計	43万5千円	100.0

収入45万円と支出43万5千円の差額1万5千円は翌月へ繰り越します。

5. 君津市の財政状況について

君津市の市税収入、歳出と経常収支比率の推移(決算額)



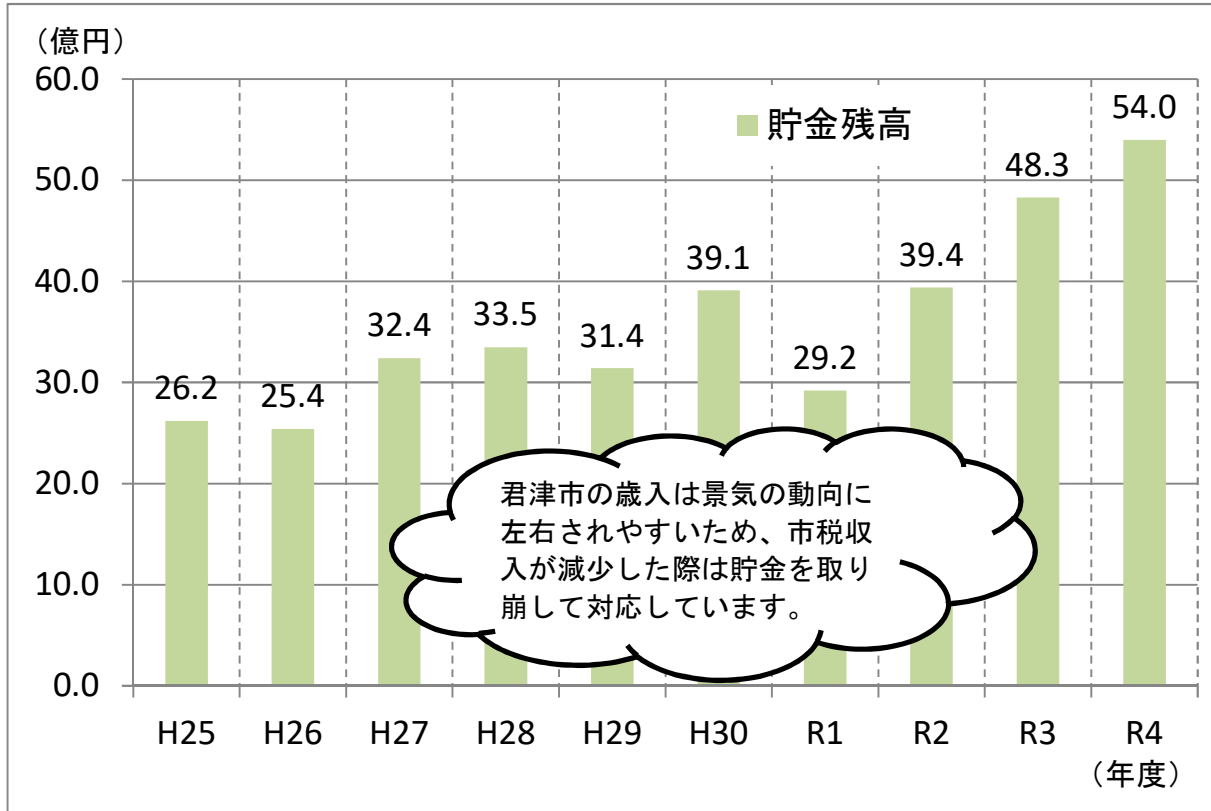
企業の設備投資により固定資産税などが、高い水準を維持しています。歳出総額は、新型コロナウイルス対策や経済対策などにより高い水準を維持しています。

経常収支比率は、人件費の増や光熱費の増などにより、増加傾向にあります。

※経常収支比率とは

使いみちに制限のない収入に対して、給料、借金の返済、福祉にかかる費用をはじめ、通常必要とされる費用を支払ったお金の割合のことをいいます。この割合が低いと、施設の整備、災害復旧、新たな市民サービスなどへ柔軟に対応することができます。

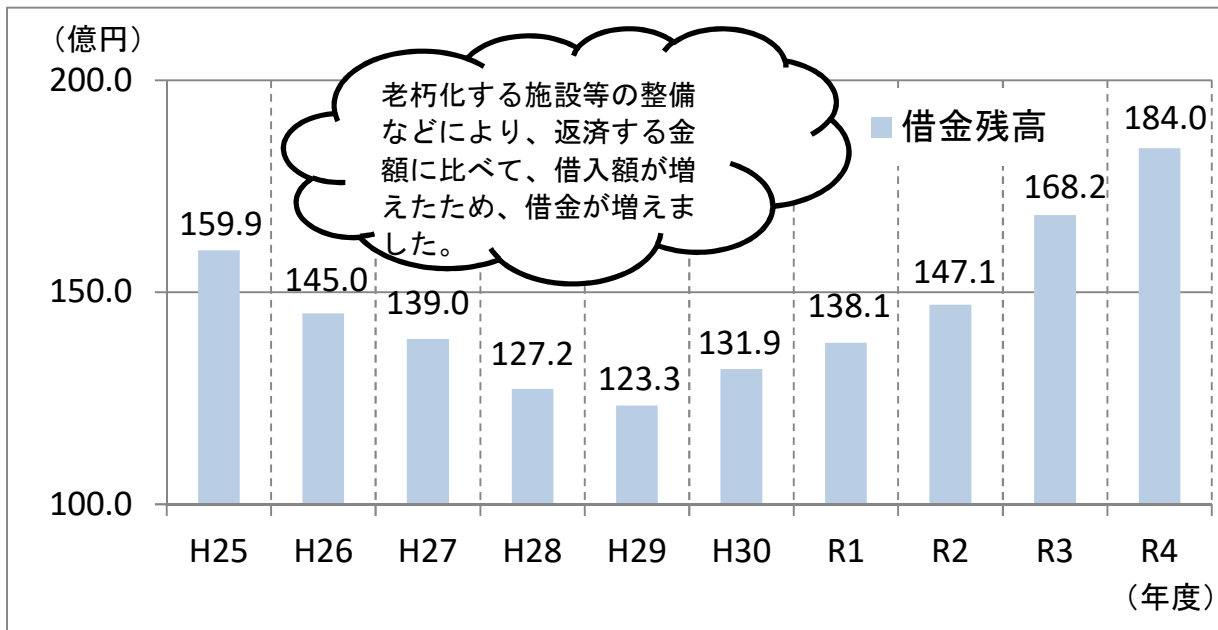
君津市の貯金（財政調整基金※）残高の推移



※財政調整基金とは

景気の影響など、市税収入が年度によって増減するため、収入が不足することがあります。このような場合に備えて年度間の不足に対応するため設置しているものです。

君津市の借金（市債残高）の推移



6. 君津市の財政は健全なの？

自治体の財政の健全性を示す4つの指標があります。令和4年度決算に基づき算定したところ、いずれの指標についても国が定める基準を下回っており、健全な状態でした。

国が定める基準

【健全化判断比率(単位:%)】

4つの指標	君津市の算定結果	国が定める基準	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	12.48	20.00
連結実質赤字比率	赤字なし	17.48	30.00
実質公債費比率	3.4	25.0	35.0
将来負担比率	27.8	350.0	-

実質赤字比率…収入に対する一般会計などの赤字の割合

連結実質赤字比率…収入に対する全会計を含めた赤字の割合

実質公債費比率…収入に対する借金返済の占める割合

将来負担比率…1年間の収入総額に対する既に将来支払うことが決まっている総負債額の割合

※地方公共団体は、健全化判断比率（4つの指標）のいずれかが早期健全化基準以上である場合には、「財政健全化計画」を定めなければなりません。また、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率のいずれかが財政再生基準以上である場合には、「財政再生計画」を定めなければなりません。

7. 今後も大丈夫？

現在、君津市の財政状況は健全に保たれています。

しかし、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少などにより、今後、税収の大幅な増加を見込めない状況にあります。

また、社会保障関係費の増加や都市基盤・公共施設の長寿命化対策、感染症対応、デジタル化・脱炭素化・地方創生の推進、防災・減災対策など、財政需要は年々増加する傾向にあります。

経常的経費の抑制や業務効率化の推進などにより財政の健全性を維持しながら、市民みなさまのニーズを的確に把握し、将来にわたり持続可能な行財政運営に努めていきます。